

ひとの姿—日本画の人物表現

会 期 2004年11月27日(土)～2005年2月6日(日)

ひとの姿が描かれた絵画には、肖像画や歴史画、美人画などがあります。肖像画は特定の人物の相貌や特徴を描いたもので、画家が自らを写した自画像や実際に対象を眼にすることなく描かれた歴史上の人物像なども含まれます。また、日常生活に取材した風俗画に始まり、江戸時代の浮世絵を経て発達した美人画は、女性の美しさを鑑賞するための絵画として、近代の日本画におけるひとつの大きなジャンルを確立しました。

一方、人物を主題としていない場合でも、風景画のなかに小さく描かれた人が生活の情景を表現するなど、人物が画面上で果たす役割は多様ですが、いずれの作品にも画家の人間観や歴史観が強く反映されています。

本展では、美人画や歴史人物の肖像を中心に、現代の新たな女性像にいたる日本画の人物表現をご紹介します。はんなりした美人から働く人々の様子まで、また単身像から群像まで、さまざまなひとの姿をお楽しみいただけます。

会 場	高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)
時 間	午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで) 金曜日のみ午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分まで)
休 館 日	毎週月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)、祝日の翌日、年末年始 会期中の休館日：11/29、12/6・13・20・24、12/27～1/4、1/11・17・24・31
観 覧 料	一般：500 円 (400 円)、大高生：300 円 (250 円)、中小生：200 円 (150 円) <ul style="list-style-type: none">● ()内は 20 名以上の団体割引料金● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、未就学児は無料となります● 市内に居住する小中学生については、毎週土曜日は無料となります
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
企 画 協 力	山種グループ

関連事業

- 作品解説会 11/27、12/11、12/25、1/15、1/29 14:00～